

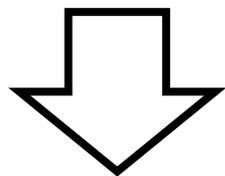
# 「融合型部活動」の取組

村上市部活動総括コーディネーター  
スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー  
NPO法人希楽々 理事長 渡邊 優子

## あらすじ

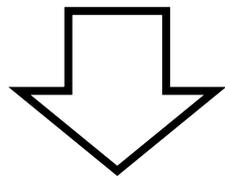
平成18年度  
～23年度

女子バスケ  
サークル



平成24年度  
～28年度

新しいカタチの  
部活動



平成29年度  
～現在

融合型部活動



# 部活動地域移行推進計画の策定

令和5年1月

## 村上市立中学校の部活動地域移行推進計画【概要】

村上市教育委員会

○少子化が進む中、中学校の部活動の維持が困難になりつつある。学校によって部活動の選択肢が限られ、生徒の多様なニーズに応じた活動の機会を保障し、生涯にわたるスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保が急務である。その際、生徒の自主的な活動であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、村上市民総がかりで、新しい価値を創出することが大切である。対象は村上市在住の中学生（県立含む）とする。

○「部活動の地域移行に関する検討会議の提言」を踏まえ、令和4年12月に策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」により、村上市は、新たな「地域クラブ活動」を整備することにした。

○村上市「地域クラブ活動」は、村上市教育委員会が関与し、村上市内のNPO法人等が運営主体となる。運営主体の傘下に入って、管理・監督（ガバナンス・コード）を受けて連携した団体が、指導者を確保し、国や県、村上市の支援を受け、受益者負担の原則（負担の軽減を最大限行う）の下に活動をする。文化部については、当面の間、村上市教育委員会による直轄方式をとり、段階的な移行を目指す。

○令和5年度から令和7年度までの3年間を移行期間とする。令和8年度初から休日の活動は完全に移行し、平日の活動も同時期の移行を目指す。令和5年2月に希望する団体、希望する指導者の募集、各学校での生徒及び保護者への説明をする。3月から希望する教師の兼職兼業手続きも行う。

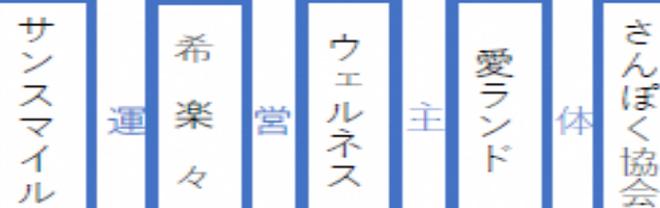
○令和5年以降、毎年4月の各中学校の部活動説明会とPTA総会で、村上市「地域クラブ活動」となる団体について説明し、活動への参加生徒を募集する。移行期間は学校部活動と「地域クラブ活動」が同時に活動することになる。混乱を避けるため「融合型部活動」を行う。

### I 村上市「地域クラブ活動」

<スポーツ>

村上市教育委員会

総括運営主体（総括コーディネーター）



各中学校に令和4年度にある部活動は何らかの形で「地域クラブ活動」団体に移行することを目指す。なお、スムーズな移行のために合同での活動を行う。

荒中	岩神中中	東一中中	朝中	山中
----	------	------	----	----

<吹奏楽> ※他の文化部を含む

総括運営主体（当面 村上市教育委員会）

運営主体  
「文化クラブ（仮称）」  
※ 休日 市内合同 兼職兼業指導者  
※ 市内一カ所で活動

各PTAが、吹奏楽部を中心とする「文化クラブ（仮称）」を立ち上げ、「監視員」を雇用する。

荒中PTA	神中PTA	岩中PTA	一中PTA	東中PTA	朝中PTA	山中PTA
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

### II 指導者

総括運営主体は、希望する者の指導者としての適性や資格等を審査し、登録承認する。登録は年度毎とする。また、「指導者育成プログラム」を実施し、公認指導者資格を取得させる。村上市内の人材を有効に活用する。教師が兼職兼業承認を受け地域指導者となることを妨げない。

### III 活動場所 移動手段等

村上市「地域クラブ活動」については、原則として学校施設以外の既存施設を利用する。ただし、季節や天候によって学校施設を利用する場合もある。移行期間について、平日の活動場所までの移動は、「クラブバス（仮称）」の運行を検討する。移行後は運営主体と団体で手配・運行する。休日は保護者送迎を原則とするが、移行期間内の市内での合同の活動や中体連又は吹奏楽連盟の大会等の場合は休日の通学バスの利用を検討する。この場合の費用は村上市教育委員会が補助を検討する。道具や用具は個人負担を原則とする。

# 「融合型部活動」とは

## ① 学校部活動

バスケットボール  
バレーボール  
卓球  
野球

## ② 地域の活動

スポーツ少年団  
体育協会  
希楽々  
クラブチーム  
保護者会

## ③ 融合型部活動

Hangout (バスケットボール)  
KSTC (ソフトテニス)  
神林BC (軟式野球)

● 学校が関与する  
地域の活動

# 【運営協議会の設置】

コーディネーター



## 神林中学校区融合型部活動運営協議会

**学校**

校長 教頭  
部活動主任  
※各顧問

学校部活動及び融合型部活動  
の課題検討  
指導に関する支援  
実態調査・意向調査の実施  
その他

**地域**

NPO法人希楽々(事務局)  
スポーツ少年団・体育協会  
融合型部活動指導者  
(実技指導支援)

部活動各保護者会長  
PTA三役

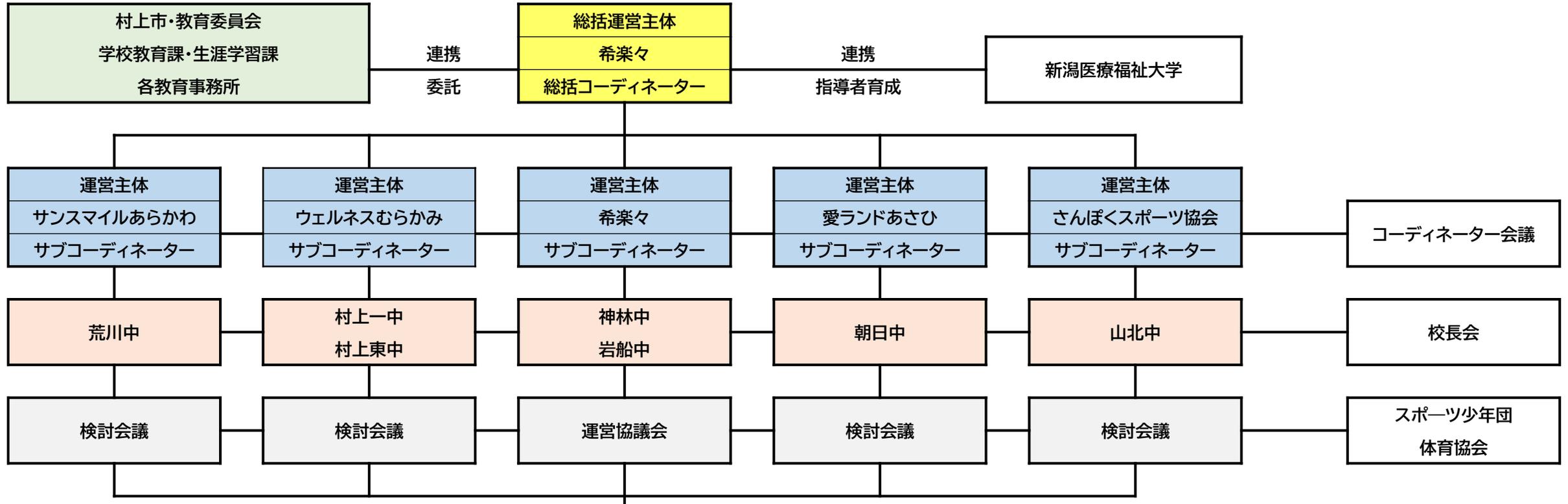
**保護者**

**教育委員会**

学校教育課・生涯学習課・教育事務所

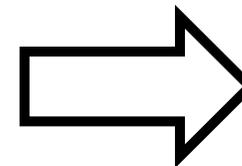
# クラブから【令和4年度から推進体制】の提案

## 総括コーディネーター・サブコーディネーターの配置



- ① 総括運営主体
- ② 各地区に運営主体
- ③ 各地区に会議体の設置

- ④ 全地区で融合型試行検証
- ⑤ 全地区で共有



拠点化  
自走

# 令和5年度 全市での取組予定

地区	神林	村上	朝日	荒川	山北
中学校数	神林中 岩船中	村上第一中 村上東中	朝日中	荒川中	山北中
会議体	運営協議会	運営協議会	運営協議会	運営協議会	運営協議会
種目数	4種目	2種目	2種目	2種目	1種目
種目	バスケットボール ソフトテニス 軟式野球 卓球	ソフトテニス 柔道	バスケットボール バレーボール	卓球 バレーボール	卓球
試行検証	バレーボール				

# 令和5年度神中・岩中学区活動

融合型名	参加者数	参加学校数	活動日	参加費	指導者数	備考
バスケットボール 【Hangout】 令和元年度～	29名	3校	水曜日 土曜日	3,000円/月 ※スポーツ保険料、大会参加費及び交通費含む	7名 教員含	1回 500円 上限 3,000円 ユニフォーム貸与 引退した3年生参加 中体連大会参加
ソフトテニス 【KSTC】 令和2年度～	16名	2校	月曜日 火曜日 木曜日 土曜日 ※金曜日	2,000円/月 ※スポーツ保険料別途	5名 教員含	1回 200円 上限 2,000円 放課後学校施設使用 火・金曜日は前期後期 放課後（バスで迎え） 中体連大会参加
軟式野球 【NEXUS】 令和3年度～	18名	1校	月曜日 金曜日 土曜日	2,000円/月 ※スポーツ保険料別途	4名 教員含	1回 200円 上限 2,000円 土曜日学校施設使用 中体連大会参加
卓球 【神林TTC】 令和5年度～	8名	1校	土曜日	1回 200円	4名 教員含	令和5年度始動 学校施設使用

# 指導者の資質向上への取組

平成30年度～

指導者の意識改革と資質向上  
公認資格取得の高いハードル・・・独自の資格認定へ  
大学監修「指導者育成プログラム」を活用した  
研修会の開催（市教育委員会に共催申請）  
融合型部活動指導者の受講義務化→受講登録票  
コーチング・教育指導法・スポーツ心理学・医学他



# 多様なスポーツを自由に選択できる

- ① 多様なスポーツ空間を自由に選択  
中学生 1～3年生、小学 6年生へ配布  
※引退後の3年生も
- ② 多様なスポーツ体験会（入学説明会時）  
6年生 54名 & 中学 1年生 59名

輝ける！  
チャレンジが  
できる!!

## 中学生には、 こんな多様なスポーツの 空間が待っている!!

**神林中学校 部活動**

- スローガンは「活躍される集団になろう！～プレーは一流、マナーは超一流～」
- 興味あるスポーツで、技術と体力、礼儀やマナーを身に付けたい!
- 集団での活動で、仲間をつかって、絆を深めたい!

**神林地区スポーツ少年団 活動**

- 一緒に楽しくスポーツしたい!
- 礼儀を身に付けたい!
- 体力を付けたい!

**神林地区体育協会 活動**

- 専門的にやってみたい!
- 上手になりたい!

**NPO法人希楽々 活動**

- 楽しくスポーツをしたい!
- 色々なスポーツをしたい!
- 色々な人と交流を図りたい!

**融合型部活動**

- 初心者でも大丈夫!
- 楽しみたい、上手になりたい、どちらも大丈夫!

総合地域スポーツクラブ  
NPO法人 希楽々

〒959-3423 新潟県村上市九日市501番地 神林総合体育館!  
TEL 0254-66-8119・FAX 0254-66-8111  
【文・土曜日 AM9:30～PM9:30 / 水～金曜日 AM9:00～PM9:00 / 日曜日 休館】  
ホームページ <http://www.kirara-kamihayashi.jp>

スポーツ庁 2020年度「運動部活動改革プラン」事業



# 学校・地域を越える仕掛け

- ① 合同会議及び種目別ワークショップの開催
- ② 村上市全地区 7 中学校
- ③ 参加者150名  
学校・保護者・地域・行政
- ④ 主催：希楽々
- ⑤ 企画：総括コーディネーター
- ⑥ 1 学校・1 地区からエリア拡大・拠点化へ
- ⑦ 「村上市でこの種目をどうするか？」
- ⑧ ONE TEAMという発想



# 指導者の量を確保するには

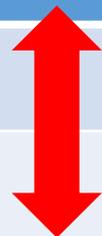
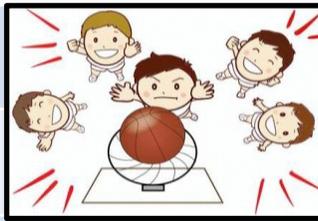
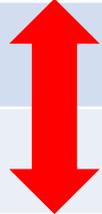
## ① スポ少との連携

スポ少指導者の想いと合意形成

組織の一本化…小学生、中学生の環境整備

## ② 地域移行は学校部活動をコピーする訳ではない

## ③ 見守り隊と遠隔操作

平日の活動	学校部活動	融合型部活動 Hangout
午後4時	 	
午後6時		
午後7時		
午後9時		

# 神林中学校の方針 (R4)

- ① 令和6年度からは休日の部活動は実施しない
- ② 令和7年度には平日も移行でいるように進める
- ③ 既に活動している融合型部活動は
  - ・ 令和5年度から大会参加も含む、休日は完全移行
  - ・ 卓球 → 3学期に試行検証  
令和5年度から休日移行
  - ・ バレーボール  
→ 3学期に2校で合同練習の機会をつくる  
令和5年度に複数校の合同練習の機会をつくる  
令和6年度から休日は完全移行

# バスケットボール空間「Hangout」

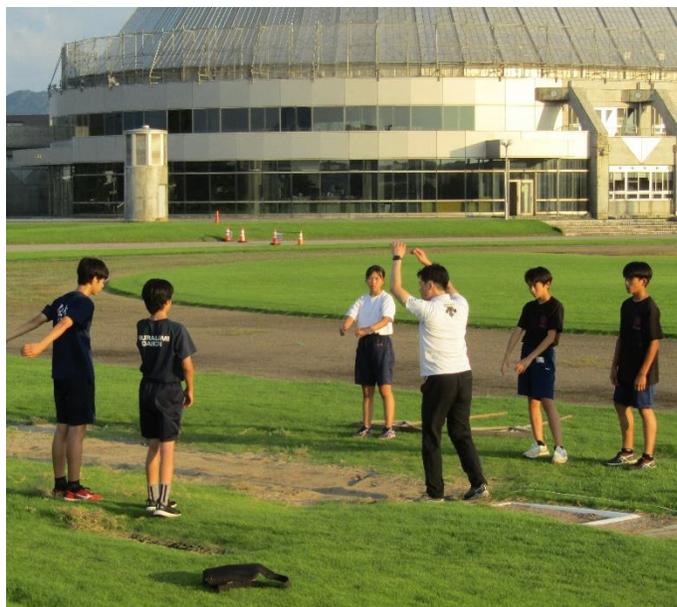
## 活動の総量管理

学校部活動は週5日から2日へ

H30		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	学校部活動						
				↓			
R1	学校部活動		<del>XXXX</del>		<del>XXXX</del>		
	校内合同部活動		11月～週1回				
	融合型部活動						
				↓			
R3	学校部活動		<del>XXXX</del>		<del>XXXX</del>		<del>XXXX</del>
	校内合同部活動		11月～週1回				
	融合型部活動						
				↓			
R5	学校部活動	<del>XXXX</del>	<del>XXXX</del>				
	校内合同部活動		11月～週1回				
	融合型部活動						

# 陸上競技への仕掛け

- ①陸上関係者意見交換会の開催（6/19）
- ②陸上競技の試行検証
- ③夕暮れ時の「合同陸上練習会」の開催（7/22）
- ④部活動（一中・荒中）、個人参加 39名
- ⑤村上市陸協の指導（10名）
- ⑥競技別（短距離・中距離・幅跳び・投てき）



# 部活動の地域移行と大きな課題

- ①中学生だけの問題？
- ②少子化だけの問題？
- ③低年期におけるスポーツ環境は？
- ④楽しいスポーツを体験してきた？
- ⑤子どもが  
自主的に選んでいる？
- ⑥大人がさせていないか？



## 正しい情報を適切な時に

- ①小学生保護者に現状を伝え、不安解消へ
- ②部活動の地域移行についての理解
  - ・勝利主義からの脱却
  - ・好きな種目を自分の志向で選べる
  - ・継続してスポーツを楽しむことができる
- ③地域の大人が環境づくり